

研磨布ディスク(ADK)・成分表、安全シート

柳 瀬 株 式 会 社

兵庫県丹波市山南町谷川1385

TEL: 0795-77-2151

作成日: 2008年10月27日

変更日: 2023年10月6日

整理番号: MSDS-G009



危険有害性の要約

- 危険性: 危険性は極めて低い。
- 有害性: 研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。
研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。
- 環境影響: 研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

[GHS 分類] (構成純物質について)

別表参照

[GHS ラベル要素] (構成純物質について)

別表参照

研磨布成分 (構成1) アルミナ砥粒

物質の特定	成分	含有量 (%)
物質の特定	アルミナ砥粒	
	Al ₂ O ₃	94% 以上
	TiO ₂	2~3% 以上
	その他 (TiO ₂ , Fe ₂ O ₃ , SiO ₂ 等)	
基 材	細綾織布 (綿+ポリエステル) を合成樹脂加工したもの。	
接着剤	一次塗装	合成樹脂+無機質充填剤
	二次塗装	合成樹脂+無機質充填剤
	オーバーサイズ	合成樹脂+無機質充填剤

取付部テープ (構成2)

物質の特定	単一製品・混合物の区分	混合物
	一般名	両面接着テープ
	化学特性 (化学式等)	該当しない

	成分	不織布、合成樹脂系粘着剤、剥離紙、紙管等
危険性情報	有害性	長時間皮膚に貼っておくと、炎症を起こす場合がある
	物理・化学的危険性	消防法の指定可燃物
	発火性	なし
	安定性・反応性	一般的な貯蔵・取扱いにおいては安定で反応性なし
	分解生成物	危険有害物の発生データなし
	急性毒性	知見なし
主な適用法規	消防法	指定可燃物（3000kg 以上の場合）に該当
	労働安全衛生法	該当しない
	P R T R 法	該当しない

研磨布ディスク(ADK) (完成品)

危険・有害性の分類	分類の名称 : 分類基準に該当しない。 危険性 : なし 有害性 : 研磨作業中に発生する粉塵は、眼・呼吸器系を刺激することがある。 皮膚を刺激することがある。
応急処置	眼に入った場合 多量の水で直ちに眼を洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。 皮膚に付いた場合 汚染部位を石鹼と水で洗う。 吸入した場合 徴候や症状がでた場合は、新鮮な空気のところへ患者を移動させる。 徴候や症状が持続する場合は、医師の手当を受ける。 飲み込んだ場合 適用しない。 応急処置に関する特記事項 応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。
火災時の処置	消火方法 ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用のこと。 消火剤 水・二酸化炭素・粉末消火薬剤・泡消火剤 火災時の処置に関する特記事項 適用しない。

<p>取扱い及び 保管上の注意</p>	<p>取扱い 作業中に粉塵が発生するので、局所排気又は全体排気を行うこと。</p> <p>保 管 常温・常湿の所に保管すること。</p>
<p>物理／化学的性質</p>	<p>外観等 : 砥粒を織布に接着し、硬化して接着された研磨工具。</p> <p>沸点／範囲 : 適用しない</p> <p>融点／範囲 : 適用しない</p> <p>蒸気圧 : 適用しない</p> <p>水溶性 : 適用しない</p> <p>比重 : 適用しない</p> <p>蒸気密度 : 適用しない</p> <p>蒸気濃度 : 適用しない</p> <p>p H : 適用しない</p> <p>粘度 : 適用しない</p>
<p>危険性情報</p>	<p>引火点 : 適用しない</p> <p>燃焼範囲－下限 (%) : 適用しない</p> <p>燃焼範囲－上限 (%) : 適用しない</p> <p>発火点 : 適用しない</p> <p>避けるべき物質 : 適用しない</p> <p>有害な分解物 : 通常の使用条件においては、有害な分解物の発生は予想されない。しかしながら、火焰または極端な過熱により次の分解物を放出することがある。 一酸化炭素・二酸化炭素・窒素酸化物・シアン化物・ホルムアルデヒド</p> <p>安定性・反応性 : 安定。危険な重合は起こらない。</p>
<p>暴露防止措置</p>	<p>許容濃度</p> <p>炭化ケイ素 (409-21-2)</p> <p>日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 吸入性粉塵 2 mg/m³ 総粉塵 8 mg/m³ ACGIH TLV : 10 mg/m³ TWA 1986</p> <p>酸化アルミニウム (1344-28-1)</p> <p>日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 吸入性粉塵 0.5 mg/m³ 総粉塵 2 mg/m³ ACGIH TLV : 10 mg/m³ TWA AIとして 1986</p> <p>ナイロン繊維又は織物 (NYLON F02)</p> <p>日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 設定されていない ACGIH TLV : 設定されていない</p> <p>炭酸カルシウム (1317-65-3)</p> <p>日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 吸入性粉塵 2 mg/m³ 総粉塵 8 mg/m³ ACGIH TLV : 10 mg/m³ TWA 1986</p> <p>設備対策</p> <p>硬化物の研磨、切削を行う場合は、適切な局所排気装置を使用する。 換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。集塵装置を使用する。</p> <p>保護具</p> <p>呼吸保護具</p> <p>切断又は研磨作業中に発生する粉塵の吸入を避ける。 汚染物質の空気中での濃度に基づいた検定済の呼吸器を選択すること。半面防塵マスク、全面防塵マスク</p> <p>保護眼鏡</p> <p>サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。</p>

有害性情報	<p>眼に入った場合 本品を正常に使用している場合に、眼に入ることは予想されない。 眼の機械的刺激：症状は刺激、発赤、角膜の傷、催涙を含むことがある。 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は眼を刺激することがある。</p> <p>皮膚に付いた場合 皮膚に付いた場合の健康障害は予想されない。 機械的な皮膚刺激：症状はかゆみ、発赤を含むことがある。</p> <p>吸入した場合 吸入した場合の健康障害は予想されない。切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は呼吸器系を刺激することがある。</p> <p>飲み込んだ場合 本品は、摂取される可能性は少ない。</p> <p>その他有害性情報 本品は、適切な条件又は当社の使用方法に従って使用する場合は、危険有害性はない。しかし、本品の取扱説明書に従わないで使用する場合は、製品の性能に影響を与え、危険有害性を起こす可能性がある。</p>
廃棄上の注意	<p>残余廃棄物 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 行政の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして処理を委託する。</p>
適用法令	<p>労働安全衛生法 粉塵障害防止規則</p>
その他	<p>記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。 また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。</p>

構成純物質のGHS分類

○印が該当する物質	○	○
	酸化アルミニウム	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外	分類対象外
高圧ガス	分類対象外	分類対象外
引火性液体	分類対象外	分類できない
可燃性固体	区分外	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外	分類できない
自然発火性液体	分類対象外	分類できない
自然発火性固体	区分外	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外	分類対象外
酸化性液体	分類対象外	分類対象外
酸化性固体	区分外	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない	分類できない

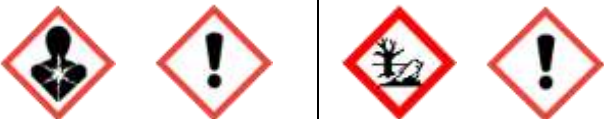

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない	分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない	区分2B
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	分類できない	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない	区分外
発がん性	区分外	分類できない
生殖毒性	区分できない	区分外
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(吸入:肺)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	分類できない	区分1
水生環境慢性有害性	分類できない	区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル		
注意喚起語	危険	警告
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ 長期又は反復ばく露(吸入)による肺の障害	皮膚刺激 眼刺激 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ 水生生物に非常に強い毒性 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性